

平成21年度 大学コンソーシアムやまがた臨時総会議事録

日時	平成22年3月31日(水) 15:00~16:25	
場所	山形大学事務局第一会議室	
出席者	羽陽学園短期大学	: 研 攻一 学長
	鶴岡工業高等専門学校	: 横山 正明 校長
	東北芸術工科大学	: 坂元 徹 常務理事(松本学長代理)
	東北公益文科大学	: 黒田 昌裕 副会長・学長
	放送大学山形学習センター	: 柴田 洋雄 所長
	山形県立産業技術短期大学校	: 赤塚 孝雄 校長
	山形県立農業大学校	: 竹田 耕平 副校長(山口校長代理)
	山形県立保健医療大学	: 伊橋 光二 理事(日下部学長代理)
	山形県立米沢女子短期大学	: 遠藤 恵子 副会長・学長
	山形大学	: 結城 章夫 会長・学長
		小山 清人 幹事会委員長・副学長
		中島 勇喜 最上川学プロジェクト推進委員会委員長・副学長
		下平 裕之 総務運営委員会委員長・准教授
		鈴木 英一 企画部長
		津田ひろ子 学術情報部会長・係長
	山形短期大学	: 那須 一彦 准教授
オブザーバー	山形大学	: 横井 博 教授、前田 裕司 教授、 山崎 眞二 教授、出川 真也 准教授

1 開会

議事に先立ち、議長から、本コンソーシアムは来年度から第2期事業計画を進め、新たな方向を目指す旨の発言があった。

次いで議長から、出席者の紹介の後、本日の議事録署名人を、放送大学山形学習センターの柴田所長と山形大学の下平総務運営委員会委員長にお願いしたい旨提案があり了承された。

2 議事

[報告事項]

- 1 山形工科短期大学校及び東北文教大学からの入会申込み等について
- 2 臨時総会(持ち回り)の審議結果について
- 3 学長懇談会(2/23)について
- 4 平成22年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)調書について

事務局から、それぞれ資料1-1から資料4に基づき報告があった。

[協議事項]

第1号議案 平成21年度 大学コンソーシアムやまがた事業(中間)報告(案)について

議長から本件について提案があり、総務運営委員会委員長の下平委員長から資料5に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

第2号議案 平成21年度 大学コンソーシアムやまがた収支決算見込額(H22.3.24現在)について

議長から本件について提案があり、事務局から資料6に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

第3号議案 平成22年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)について

議長から本件について提案があり、事務局から資料7に基づき説明があった後、意見交換があり、諮られた結果、了承された。

主な意見交換の内容は以下のとおり。

- ・ 「連携型教育の推進」については、放送大学で開講している科目の中に、いわゆる補充授業に適合した科目があり、会員校のメリットとなる可能性がある。
- ・ 来年度の開講時期はいつ頃になるのか?
→後期の10月からになる見込みである。

関連して議長から、第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画及び新センター(仮称)の設置に伴う「会則」の変更について提案があり、事務局から資料7-2に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

なお、総会が指名する事務局の場所は、新センター(仮称)を設置する場所(山形市香澄町一丁目)とされた。

第4号議案 平成22年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)について

議長から本件について提案があり、事務局から資料8-1～資料8-3に基づき説明があった後、意見交換があり、諮られた結果、了承された。

主な意見交換の内容は以下のとおり。

- ・ 報告事項であったとおり、センター（仮称）運営費の負担金については本部との協議が必要である。本部からは負担するメリットを聴かれることが予想されるので、その際はよろしくお願ひしたい。
- ・ 機関負担金で「短大等の機関割は1／2で積算」とあるが、この根拠は何か？
→現在、過去の資料が手元にないのでおて確認し、ご報告する。

（注）上記の件についての事務局報告

「負担金（会費）の額は総会において定める」とされており（「会則第9条の3」）、短大等の機関割額については、平成17年3月30日開催の総会（新たに5機関の加入が承認された後の最初の総会）において決定された。

第5号議案 新センター（仮称）オープンについて

議長から本件について提案があり、事務局から資料9-1、オブザーバーの山形大学横井教授から資料9-2及び資料9-3に基づき説明があった後、意見交換があり、諮られた結果、了承された。

主な意見交換の内容は以下のとおり。

- ・ 新センターの正式名称をどのようにして決めるのか。
→企画会議でどのようにして名称をきめるのかを検討する。
- ・ 学生がセンターで行うことができるイメージ・事例（例えば、社会に出る準備活動として、東北芸術工科大学の学生が野菜を販売すること）を与えて、新センターが使いやすいようにすること。また、学生が集まったり、論議したりするような仕掛けづくりが必要だ。さらに、“売り”となっている各機関の学生活動を展開すること。
- ・ 学生が大学の枠を超えて集まるのは大変であるので、集まるようなインセンティブ、例えばI Phoneが無料で使えるというような学生にとっての魅力、を作る工夫が大事だ。また、加盟機関の情報取得が、ネットよりも優れているということを見せていく必要がある。さらに、かつて霞城セントラルに山大地域共同センターサテライトが進出したが、その際に言われたことは、大学は敷居が高いがサテライトはそうでないということ。そこで、大学の講義をネット上で配信してこのセンターで見られるようにする、ということはどうか。なお、アクセスが良いので会議室としては使える。
- ・ 今回試案で示されている事業計画は雑多だ。この事業計画で必要なのは、2年間という期間を使って宣言の趣旨が達成されるように、ステップアップしながら事業を進めていくというような考え方である。
- ・ 庄内に大学がある場合はどういう形で参画できるのかが課題である。各大学の情報を常設展示する場合は誰を対象にするかの視点が重要だ。また、企画イベントを持ち回りでやるということも考えられる。本学で地域共創センターがあり地域とのコラボレーションが行われているが、

この場合はどのような事例について企画するかがポイントとなる。

- ・ 新センターで活動していることが外部から分かるようにすること（ブログ等ネット配信）が重要だ。展示という手法では外からのアクセスはなされない。例えば、現在芸工大、山大、山短大がモンテディオ関連で共同活動しているが、その活動状況をホームページで見られるようにする、というようなこと。

[その他]

議長から、部会等の廃止に伴う各委員並びに人事異動に伴う退任委員等への謝辞があった。
なお、今回は日程を調整の上開催することとなった。

[配付資料]

- | | | |
|--------|----|--|
| 資料 No. | なし | 大学コンソーシアムやまがた役員名簿 |
| | " | 大学コンソーシアムやまがた臨時総会（12/22）議事録 |
| | " | 大学コンソーシアムやまがた会則 |
| 資料 1-1 | | 「大学コンソーシアムやまがた」への入会申込みについて（山形工科短期大学校） |
| 資料 1-2 | | 大学コンソーシアムやまがた及び同単位互換協定への加入について（東北文教大学） |
| 資料 2 | | 大学コンソーシアムやまがた臨時総会（持ち回り）の審議結果について（報告） |
| 資料 3 | | 大学コンソーシアムやまがた 学長等共同宣言 |
| 資料 4 | | 平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書 |
| 資料 5 | | 平成 21 年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案) |
| 資料 6 | | 平成 21 年度 大学コンソーシアムやまがた収支決算見込額（H22. 3. 24 現在） |
| 資料 7-1 | | 平成 22 年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案) |
| 資料 7-2 | | 「第 2 期事業計画」及び新センター（仮称）の設置に伴う「会則」の変更について（案） |
| 資料 8-1 | | 平成 22 年度 機関負担金（会費）（案） |
| 資料 8-2 | | 平成 22 年度 新センター（仮称）運営費について（案） |
| 資料 8-3 | | 平成 22 年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案) |
| 資料 9-1 | | 新センター（仮称）の設置等について |
| 資料 9-2 | | 新センター（仮称）事業の進め方（案） |
| 資料 9-3 | | 新センター（仮称）オープンイベント（試案） |

議事録署名人

山形大学長

結城章夫



放送大学山形学習センター所長

柴田 洋雄



山形大学人文学部准教授

下平 裕之



